

藤棚新聞



第70号
2020年(令和元年)
2月20日
偶数月発行
フリーペーパー

外国人との共生・文化の交流はこれからもますます必要

オリンピックを迎えて、街には外国人の姿がとても目立つようになってきました。外国人は観光客ばかりではなく、日本に住む方も増え続けています。横浜市の外国人はH31年4月末には100,227人で、5年間で約3割増えています(横浜市国際局)。西区で戸籍登録をしている外国人は12月末で、5,255人です。

日本とは言葉も文化も違う人たちと言葉を交わして、お互いの理解を進めることがますます大切になってきます。

日本に住んでいる外国人のためのボランティア日本語教室「Friendsにし」の代表 高橋導徳さんから外国人との共生について記事を寄せていただきました。



外国人との共生について

外国人住民と日本人住民が共生社会を実現するための基本として簡単な日本語が必要になる。ボランティア日本語教室「Friendsにし」は2007年に開設して13年間継続している。現在は3つの教室があり、ボランティア17名で分担している。日本で生活するために必要最小限の日本語を、外国人が希望する学習方法に沿って教えている。特に希望がない時は当方で準備した教科書を中心に使う。

火曜日は夜の授業(午後7時～8時30分)になり、昼間に仕事をしてから来る方が多い。また木曜日の午前中(午前10時～11時30分)は駐在員の奥さん、そして木曜日の午後(午後3時～4時30分)には、午前中に日本語学校で勉強してから復習を兼ねてくる方が多い。来る方の日本語のレベルは入門から上級まで様々である。

教室では日本語学習の他に交流を深めるために春に桜の花見会や、料理室を借りて日本料理や外国料理をみんなでつくり試食する。また毎月の月末週には「日本料理について」などとタイトルを

決めて、会話の練習をする。またビール工場の見学、横浜港の施設見学や横浜港遊覧、昼食会なども実施してきた。

このようなイベントを行政が中心、あるいは第三者機関が担当して交流を行うことが良いと考える。いずれにしても多文化共生を進めるための人材の育成、予算、開催場所の確保が問題である。



こんにちは
グループ

<元気づくり
ステーション>

浜松町公園「みんなで体操」



「みんなで体操」のグループは毎週土曜日9:00~9:25 浜松町公園に集まって、ラジオ体操やウォーキングをします。

西区役所の高齢・障害支援課にお勤めで保健師でもある、「みんなで体操」代表の浅野由美子さんから次のようにお話をうかがいました。

「『ラジオ体操』は今見直されていて、音楽を聴けば誰でも身体が動き、初参加でもやりやすいのです。

ラジオ体操の次にやる『チューリップ体操』は、いしだあゆみのブルーライトよこはまの歌に合わせてする健康体操です。これは懐かしみながら体操ができます。

さらに『もう少し運動を増やしたい人はウォーキングを5分やりましょう』と、体操の後にストレッチをしてから公園内の歩道を話しながら歩きます。日ごろの何気ない話をしながらなので、仲良くなるのにはもってこいです。途中からも『入れて〜』と人が入ってきます。公園の花や自分が育てている花、近くの公園、趣味や活動のことなどを話しながら歩きます。

これがもとになって、今年は歩いて他のところの桜を見に行こうと計画しています。来年も違う公園にとの話も出ています。やっぱり売りは、公園周囲の桜の木と公園の真ん中にある銀杏の大木が気持ちのいい空間を作っていることです」 (写真は浅野由美子さん提供)

気になるお店シリーズ



掃部山公園のふもと、小道を入ったところに昨年10月ケーキ屋さんがオープンしました。

オーナーパティシエの秋元孝与さんは横浜で約10年間ケーキ作りの修行をした後、製菓商社で約8年レシピ開発に携りました。ワーキングホリデーでパリへと研修に行った経験もあります。そして空家となっていた元の実家を改装し、地元で開業したいという念願を叶えました。



お店のコンセプトは①モンパティシエ(私のケーキ屋さん) ②四季の喜び③甘いものは別腹。

フランスではお気に入りのパン屋さんを、親しみを込めて「モンブランジェリー(私のパン屋さん)」と呼んでいて、秋本さんも「モンパティシエ(私のケーキ屋さん)」になりたいと言います。地域に親しまれたいというオーナーの思いが溢れていますね。

お店の定番はロールケーキ。さらにショーケースには10~13種類のケーキが並んでいます。マドレーヌやクッキーなどの焼き菓子もこだわりの逸品。ギフトBOXもありますよ。

「昔の藤棚商店街もよく覚えている」と話すオーナーは生粋のハマっ子。地元愛に満ちたこのお店は西区の小さなランドマークになること間違いなしです。

住所：西区戸部町4-126 TEL：045-294-7173 11:00~19:00

定休日：月曜日、火曜日 年末年始、GWはSNS (Instagram Facebook) で確認

楽しさでつながる折紙

折紙は日本の伝統的文化で、起源は17世紀以前に遡るとも言われています。たいていの方はこどもの頃に鶴や船を折って、みんなで楽しんだ思い出があることでしょう。

2月10日、にしとも広場で折紙グループ t r e m a n i (トレマニ)の岡本佳与子さん(写真左)と川崎聖恵(きよえ)さん(写真右)にお話を伺いました。お二人とも紙が好きそして指を動かすのも好きで、折り紙は楽しくてたまらないと言います。



紙の大きさもいろいろで模様入りの紙もあって、花や手裏剣などを見せていただきました。そして子どもたちと折るときの会話は楽しく、家族や多くの人たちとのコミュニケーションにも役立つとのことで、折り紙は人びとの共生にもつながるような気がしました。

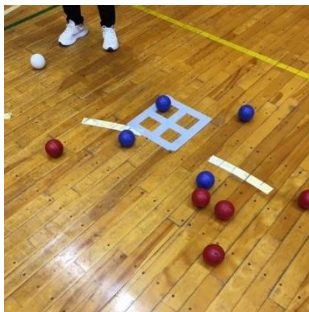
知的戦略を必要とするボッチャを体験

2月6日、区民が藤棚地区センター体育室でボッチャの体験会を楽しみました。ボッチャは1984年からパラリンピックの正式種目になりました。カーリングに似ていてジャックボールと呼ばれる白いボール(的)をめがけて各々のチームがボールを6球ずつ転がし、いかに近づけるかを競います。



ボールを投げた選手

この日は横浜市障害者スポーツ指導者協議会の方々の指導の下、3人1組になって第一エンド、第二エンドの合計点で争う白熱したゲームが繰り広げられました。



ゴール

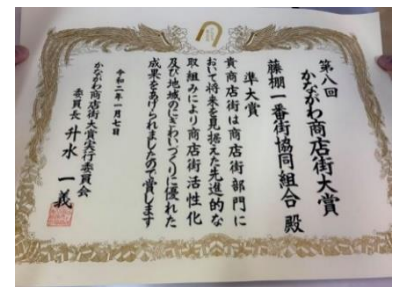
エンド毎に6球投げて的に近い方の勝利になります。点数は負けチームのボールと的を結ぶ半径以内にある勝ちチームのボールの数が勝ちチームの得点になります。

藤棚地区センターでは5年前から体験会を開いて普及に努めています。男女の区別はなく、筋力も必要ありません。知的戦略と集中力が要求されます。今年は東京パラリンピックがありますので応援しましょう。

藤棚一番街協同組合 『第8回かながわ商店街大賞』準大賞を受賞

協同組合副理事の今井さんから受賞した喜びの声を伺いました。

「受賞理由は《独自性あるイベントや空き店舗への誘致活動が街の活力を生み出す》ということです。ここは相鉄線西横浜駅から徒歩10分ほどの住宅地内の商店街です。衰退し商店街の存続が危ぶまれた中で、若手店主らが奮起、空き店舗への誘致活動やイベントを積極的に行うようになりました。今では商店街に映画監督や建築家が拠点を持つようになり、活性化に寄与しています。



また、元々開催していた6月から8月の縁日や、地域の子どもの向けイベントの「藤棚子ども笑店街」なども充実させました。最近では「藤棚シネマ商店街」として、野外映画上映会の開催や、藤棚が舞台の映画制作などを支援しています。完成した映画を地域内にある映画館で上映するなど、他の商店街にない独自性高い取り組みが行われ、今後も期待が持てるとして高く評価されたことがとても嬉しい限りです」と話してくれました。

「くつろぎサロン～お楽しみ会～」

実行委員会主催・藤棚地区センター共催

第6回くつろぎサロンが1月18日、藤棚地区センターで催されました。

和菓子“浮島”をいただきながら、①「生活支援センター西」のTさんの楽しく元気に暮らしたいというお話を聞き、②うつ病で悩んでいる方のための本「わたしの主人公はわたし」が紹介され、休憩を挟んで③音楽グループのLa s ée dさんによる歌、ピアノ、フルート演奏に聴き入りました。指を使った脳トレ体験の後には、皆で「パプリカ」「今日の日はさようなら」等を歌って、優しさあふれる2時間を楽しむことができました。



ふじなちゃんの散歩道 「掃部山の桜」



掃部山の銅像前広場から左右に下る手前の左側に珍しい2本の桜が並んで植わっています。

その内の御衣黄(ギョイコウ 写真上)は緑色の花が咲きます。次第に赤みを増して散るところにはかなり赤くなります。その名前の由来は江戸時代、貴族の衣服の萌葱色からきているそうです。



もう1本の普賢象(フゲンゾウ 写真下)は、八重咲きの大きな花の中心の葉化した雌しべを象の鼻に見立てて、普賢菩薩が象に乗っているとして名付けられました。

見ごろはソメイヨシノの満開より10日以上遅く迎えます。

(写真は、2019年4月16日坪野晃久さん撮影)



<h3>生活を彩る手作り品の委託販売</h3> <p>みなさんが作ったバッグ・造花・アクセサリ</p> <p>作品のクリエイターさん募集!</p>  <p>資生堂・カネボウリサーチを扱い中</p> <p>Phone045(322)1920 西区中央2-24-6</p>	<p>小学1年生～高校3年生対象 入室テストはありません</p> <h2>80分無料体験授業 実施中!</h2> <p>まずは京進スクール・ワンのよさを実感してください。※小学1～3年生は40分授業です。</p> <p>さあ! 君もこの藤棚新聞を持って 藤棚郵便局斜め前の教室へGO!</p> <h2>特別招待状</h2> <h3>個別指導京進スクール・ワン</h3> <p>小学1年生から 高校3年生 「全科目対応」</p> <p>戸部藤棚教室 TEL 045-594-7326</p> 
--	---

藤棚新聞では、ただいま広告を募集中です。いっしょに活動してくれるボランティアも募集しています。

【発行】藤棚新聞 〒247-0009 横浜市栄区鍛冶ヶ谷 2-54-C 801

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@jcom.zaq.ne.jp

【ホームページ】<https://fujidananews.jimdofree.com/>